（個 人）　　（報告　　田　中）

山（山域・ルート）　**鬼 怒 沼 山**

【日時】２３年１０月１９日（水）

【メンバー】

田　中　　（計　１　名）

【行動記録】

大宮２時１０分（クルマ）⇒（関越道・東松山ＩＣ－沼田ＩＣ）⇒大清水登山口（５時１５分－５時４０分）⇒物見山（８時５８分）⇒鬼怒沼（９時２６分－９時４０分）⇒鬼怒沼山（１０時２５分）⇒物見山（１１時４１分）⇒大清水（１４時２３分）

上り　４時間４０分　　下り　３時間４０分

鬼怒沼山（標高２，１４１ｍ）

大清水登山口 → 物見山 → 鬼怒沼 → 鬼怒沼山 → 鬼怒沼 → 物見山 → 大清水登山口

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツエルト

水（２リットル）、食事（昼食）、行動食

【感想】

鬼怒沼までは、１０年前の秋に女夫淵温泉から１泊で往復したことがある。今回はその奥の鬼怒沼山（登る人は少ない）を目指すことにしたのだが、尾瀬の登山口である大清水から入山してみた。青空は見えるが、時間が早く、紅葉が進んだ登山道に陽は届かない。林道歩きから湯沢を渡ると、急登が始まる。薄日が指した尾根道から左手（北）に燧ケ岳、後に武尊山、右に日光白根山が見える。木の根が張った急登を２時間半登るとやっと２，１１３ｍの物見山に着いた。山頂を下り始めるとすぐに日本一高所にある湿原、鬼怒沼（標高２，０２０ｍ）が見える。登山道は笹が広く刈り払われていた。鬼怒沼までくると、奥鬼怒四湯から上がってきたハイカーの集団と出会い、木道上は急に賑やかになった。そこからまた樹林帯に入り、鬼怒沼山を目指す。往復１時間強をかけて登った山頂は狭く、展望がないと言われてきていたが，今は南が伐採され、日光白根山が見える。再び、鬼怒沼に出てベンチに座り、昼食を取り、後は、物見山を登り返し、大清水に下った。